

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R1001	労災診療費請求書レコードの労災診療費単価が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1001	<上段> 労災診療費単価が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1002	労災診療費請求書レコードの労災診療費単価に使用できない値が記録された場合、エラーを出力します。	R1002	<上段> 請求できない労災診療費単価が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1005	労災診療費請求書レコードの病院・診療所の区分が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1005	<上段> 病院・診療所の区分が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1006	労災診療費請求書レコードの病院・診療所の区分に使用できない値が記録された場合、エラーを出力します。	R1006	<上段> 請求できない病院・診療所の区分が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1009	暦年月日以外の請求書提出年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R1009	<上段> 請求書提出年月日が正しい暦年月日で記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1010	療養期間一末日前の請求書提出年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R1010	<上段> 療養期間一末日前の請求書提出年月日が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1011	請求書提出年月日の年号に、「1」(明治),「2」(大正),「3」(昭和),又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1011	<上段> 請求提出年月日の年号区分に誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1013	労災診療費請求書レコードの郵便番号に7桁の数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1013	<上段> 郵便番号が正しく記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1014	労災診療費請求書レコードに医療機関所在地が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1014	<上段> 医療機関所在地が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1015	労災診療費請求書レコードに医療機関責任者氏名が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1015	<上段> 医療機関責任者氏名が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1016	労災診療費請求書レコードの労災医療診療費単価に当該医療機関と一致しない労災診療費単価が記録された場合、エラーを出力します。 ①課税医療機関の場合に「1200」でない ②非課税医療機関の場合に「1150」でない	R1016	<上段> 記録された労災診療費単価が台帳と一致していません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1017	労災診療費請求書レコードに労働基準監督署コードが記録されており、都道府県労働局コードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R1017	<上段> 都道府県労働局コードが記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1018	労災診療費請求書レコードの都道府県労働局コードに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R1018	<上段> 都道府県労働局コードに誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1019	労災診療費請求書レコードの労働基準監督署コードに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R1019	<上段> 労働基準監督署コードに誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1020	労災診療費請求書レコードに指定病院等の番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R1020	<上段> 指定病院等の番号が記録されていません。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1021	労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号に7桁の数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R1021	<上段> 指定病院等の番号に数字以外が記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1022	労災診療費請求書レコードの指定病院等の番号が労災指定医療機関マスターに未登録である場合、エラーを出力します。	R1022	<上段> 指定病院等の番号に誤ったコードが記録されています。 <下段> 指定病院等の番号[XXXXXXXX]
R1031	各レセプトの労災レセプトレコードの合計額の合計と請求金額が一致していない場合に、エラーを出力します。	R1031	<上段> 各レセプトの労災レセプトレコードの合計額と労災診療費請求書の請求金額が一致していません。
R1032	労災レセプトレコードの件数と労災診療費請求書の内訳書添付枚数が一致していない場合、エラーを出力します。	R1032	<上段> 各レセプトの件数と労災診療費請求書の内訳書添付枚数が一致していません。
R1041	療養期間一初日に平成25年5月以前の年月日が記録された場合に、エラーを出力します。	R1041	<上段> 平成25年5月以前の療養期間一初日が記録されています。 <下段> 療養期間一初日[XXXXXXXX]ロレセプト内レコード番号[XXXX]ロレコード内項目位置[XXX]
R1910	レセプト番号が6桁以内でなければ、エラーを出力します。	R1910	<上段> レセプト番号が6桁以内の数字ではありません。 <下段> 行番号[999999]ロレセプト番号[999999]労働者の氏名[労働者の氏名]
R1917	医療機関単位のレセプト番号がレセプトごとに「000001」から始まる昇順でない場合、エラーを出力します。	R1917	<上段> 医療機関単位のレセプト番号が「1」からの昇順ではありません。 <下段> 行番号[999999]ロレセプト番号[999999]労働者の氏名[労働者の氏名]

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R1920	レセプト単位のエラー箇所が1000箇所以上である場合、エラーを出力します。	R1920	<上段> R2エラー箇所が1000箇所以上となりました。管轄の労働局へ連絡してください。
R1923	医療機関情報レコードの次のレコードが、レセプト情報の先頭を示すレセプト共通レコード以外である場合、エラーを出力します。	R1923	<上段> 医療機関情報レコードの次レコードが、レセプト共通レコード以外です。 <下段> 医療機関コード[XXXXXXXX]
R1928	医療機関情報レコードの記録が限度(999回)を超えている場合、エラーを出力します。	R1928	<上段> 医療機関情報レコードの記録が限度(999回)を超えています。 <下段> 医療機関コード[XXXXXXXX]
R2002	転帰事由が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2002	<上段> 転帰事由が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2003	入院レセプトに入院年月日が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2003	<上段> 入院年月日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2004	新継再別が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2004	<上段> 新継再別が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2005	長期のレセプトで新継再別が「3」(転医始診)が記録された場合に、エラーを出力します。	R2005	<上段> 長期のレセプトで新継再別に「3」(転医始診)が記録されました。 <下段> レコード識別情報[XX]レコード[XXXXXXXXXX] レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2006	長期のレセプトで傷病年月日が記録された場合に、エラーを出力します。	R2006	<上段> 長期のレセプトで傷病年月日が記録されています。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2007	短期のレセプトで傷病年月日が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2007	<上段> 短期のレセプトで傷病年月日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2010	労働者の氏名(カナ)が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2010	<上段> 労働者の氏名(カナ)が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2012	療養期間-初日が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2012	<上段> 療養期間-初日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2013	療養期間-末日が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2013	<上段> 療養期間-末日が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2014	傷病の経過が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2014	<上段> 傷病の経過が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2015	小計点数が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R2015	<上段> 小計点数が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2017	業務災害・通勤災害の区分が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2017	<上段> 業務災害・通勤災害の区分が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2018	使用できない業務災害・通勤災害の区分が記録された場合、エラーを出力します。	R2018	<上段> 業務災害・通勤災害の区分の記録が誤っています。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2019	帳票種別が記録されていない場合、エラーを出力します。	R2019	<上段> 帳票種別が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2020	使用できない帳票種別が記録された場合、エラーを出力します。	R2020	<上段> 帳票種別の記録が誤っています。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2021	必須項目について記録がない場合、エラーを出力します。	R2021	<上段> 次の項目は記録が必須の項目です。 <下段> レコード識別情報[XX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R2022	使用できない診療科名が記録された場合に、エラーを出力します。	R2022	<上段> 使用できない診療科名が記録されています。 <下段> 診療科名[XX]
R2159	療養期間>当月処理対象年月である場合、エラーを出力します。	R2159	<上段> 当該療養期間レセプトは、次月以降に請求可能となります。 <下段> 療養期間-初日[XXXXXXXX]療養期間-末日[XXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R2160	療養期間一初日の年月日及び年号が暦年暦月暦日以外の場合、エラーを出力します。	R2160	<上段> 療養期間一初日が正しい暦年月日ではありません。 <下段> 療養期間一初日[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2161	療養期間一末日の年月日及び年号が暦年暦月暦日以外の場合、エラーを出力します。	R2161	<上段> 療養期間一末日が正しい暦年月日ではありません。 <下段> 療養期間一末日[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2163	療養期間一初日と療養期間一末日が同一年月ではない場合、エラーを出力します。	R2163	<上段> 療養期間一初日と療養期間一末日が同一年月ではありません。 <下段> 療養期間一初日[XXXXXXXX]□療養期間一末日[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2166	病棟区分の2桁ずつの区切りが数字2桁、スペース2桁でない場合に、エラーを出力します。	R2166	<上段> 病棟区分の桁数が2の倍数ではありません。 <下段> 病棟区分[XX~XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2168	傷病名レコードの修飾語コードの4桁ずつの区切りが数字4桁、スペース4桁でない場合に、エラーを出力します。	R2168	<上段> 傷病名レコードの修飾語コードの桁数が4の倍数ではありません。 <下段> 修飾語コード[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2202	1レセプトに対し100レコード以上の傷病名レコードが記録された場合に、エラーを出力します。	R2202	<上段> 1レセプトに対し100レコード以上の傷病名レコードが記録されています。 <下段> 99レコードを超える傷病名レコードは記録できません。
R2304	摘要レコードのコードの上1桁が「1」、「6」～「8」以外である場合に、エラーを出力します。	R2304	<上段> 次の摘要レコードに記録できないコードが記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□コード[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2306	診療識別の順序性が誤っている場合に、エラーを出力します。	R2306	<上段> 診療識別が昇順に記録されていません。 <下段> 前回診療識別[XX]□今回診療識別[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2307	コメントコードの上1桁に「8」以外が記録された場合に、エラーを出力します。	R2307	<上段> 次の摘要レコードに記録できないコメントコードが記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□コメントコード[XXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2310	回数が記録されていない(値が記録されていない)場合に、エラーを出力します。	R2310	<上段> 次の摘要レコードの回数が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2311	回数に0が記録された場合に、エラーを出力します。	R2311	<上段> 次の摘要レコードの回数に0が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2312	点数・回数算定単位内の回数が一致しない場合に、エラーを出力します。	R2312	<上段> 点数・回数算定単位内の回数が一致していません。 <下段> レコード識別情報[XX]□回数[XXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]□回数[XXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R2313	算定日情報(回数)に0が記録された場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2313	<上段> 次の摘要レコードの算定日情報(回数)に0が記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2317	療養期間一初日の年月に対して、暦日以外の算定日情報(回数)が記録された場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2317	<上段> 算定日情報(回数)が正しい暦年月日に記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R2319	算定日情報(回数)が記録されていない場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R2319	<上段> 次の摘要レコードに算定日情報(回数)が記録されていません。 <下段> レコード識別情報[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]
R2380	コメントがパターン「90」(修飾語コード)の場合、文字データの桁数が4の倍数、又は4桁の文字が数字4桁又はスペース4桁でない場合に、エラーを出力します。	R2380	<上段> コメントデータの修飾語コードの桁数が4の倍数ではありません。 <下段> 修飾語コード[XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2381	コメントレコード以外に診療識別「01」「99」が記録された場合に、エラーを出力します。	R2381	<上段> コメントレコード以外で診療識別「01」「99」に記録されています。 <下段> レコード識別情報[XX]□診療識別[XX]□レセプト内レコード番号[XXXX]□レコード内項目位置[XXX]
R2382	1レセプト内に1000レコード以上の症状詳記レコードが記録された場合に、エラーを出力します。	R2382	<上段> 1レセプト内に1000レコード以上の症状詳記レコードが記録されています。 <下段> 999レコードを超える症状詳記レコードは記録できません。



受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3022	入院レセプトで療養期間一末日後の入院年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3022	<上段> 療養期間一末日後の入院年月日が記録されています。
R3023	入院レセプトで生年月日前の入院年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3023	<上段> 生年月日前の入院年月日が記録されています。
R3031	事業の名称に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3031	<上段> 事業の名称に外字が含まれています。
R3032	事業場の所在地に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3032	<上段> 事業場の所在地に外字が含まれています。
R3041	労災診療費請求書レコードの医療機関所在地に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3041	<上段> 医療機関所在地に外字が含まれています。
R3042	労災診療費請求書レコードの医療機関責任者氏名に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3042	<上段> 医療機関責任者氏名に外字が含まれています。
R3102	労災指定医療機関の開設前の療養期間一初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3102	<上段> 貴院開設前の療養期間一初日が記録されています。
R3103	請求権消滅時効(療養期間から請求受付年月の間が3年1ヵ月(37ヶ月)を超えている)のレセプトが請求された場合、エラーを出力します。	R3103	<上段> 請求権消滅時効のレセプトです。
R3119	病棟区分が、「01」、「02」、「07」、省略(スペース)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3119	<上段> 病棟区分に誤ったコードが記録されています。
R3133	男女区分に、「1」、「2」以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3133	<上段> 男女区分に誤ったコードが記録されています。
R3134	生年月日の年号に、「1」(明治),「2」(大正),「3」(昭和),又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3134	<上段> 生年月日の年号区分に誤ったコードが記録されています。
R3145	暦年月日以外の生年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3145	<上段> 生年月日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3201	当該療養期間の日数を超えた診療実日数が記録された場合、エラーを出力します。	R3201	<上段> 診療実日数が当該療養期間の日数を超えています。
R3204	傷病名コードが、傷病名マスターに登録されていない場合、エラーを出力します。	R3204	<上段> 存在しない傷病名コードが記録されています。
R3205	傷病名の修飾語コードが、修飾語マスターに登録されていない場合、エラーを出力します。	R3205	<上段> 存在しない修飾語コードが記録されています。
R3206	療養期間一初日後の診療開始日が記録された場合、エラーを出力します。	R3206	<上段> 療養期間一初日後の診療開始日が記録されています。
R3207	診療開始日が暦年月日以外である場合、エラーを出力します。	R3207	<上段> 診療開始日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3209	未コード化傷病名の場合、傷病名称が入力されていない場合、エラーを出力します。	R3209	<上段> 未コード化傷病名の傷病名称が記録されていません。
R3211	未コード化傷病名の場合、傷病名称に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3211	<上段> 傷病名称に外字が含まれています。
R3214	傷病名の補足コメントに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3214	<上段> 補足コメントに外字が含まれています。
R3215	診療開始日の年号に、「1」(明治),「2」(大正),「3」(昭和),又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3215	<上段> 診療開始日の年号区分コードに誤ったコードが記録されています。
R3220	主傷病コードに「01」又は省略(スペース)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3220	<上段> 主傷病コードに誤ったコードが記録されています。
R3221	生年月日より前の診療開始日が記録された場合、エラーを出力します。	R3221	<上段> 生年月日前の診療開始日が記録されています。
R3303	摘要レコードに、診療行為マスター・医薬品マスター・特定器材マスター・コメントマスターに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R3303	<上段> 存在しない摘要コード(診療行為コード、医薬品コード、特定器材コード又はコメントコード)が記録されています。
R3304	数量データが必須の摘要データに対し数量データが記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3304	<上段> きざみ計算診療行為の数量データに対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3306	減点医薬品の場合、減点点数が記録されていない、又は0点が記録された場合、エラーを出力します。	R3306	<上段> 減点医薬品の減点点数に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3307	点数が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3307	<上段> 点数の記録が必要な箇所ですが、点数に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3309	金額識別が「7」(減点)以外で医薬品の使用量が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3309	<上段> 医薬品の使用量に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3311	特定器材の使用量が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3311	<上段> 特定器材の使用量に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3312	特定器材名称に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3312	<上段> 特定器材名称に外字が含まれています。
R3313	都道府県購入価格を使用する特定器材の場合、単価が記録されていない、又は0円である場合、エラーを出力します。	R3313	<上段> 特定器材の単価が記録されていません。
R3314	商品名及び規格又はサイズに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3314	<上段> 商品名及び規格又はサイズに外字が含まれています。
R3316	特定器材名称と商品名及び規格又はサイズの双方に記録されていない場合、エラーを出力します。	R3316	<上段> 未コード化特定器材です。特定器材名称、商品名及び規格又はサイズのどちらかを記録してください。
R3317	きざみ計算を行う診療行為の場合で、請求ファイルの数量データが診療行為マスターの(きざみ下限値ーきざみ値)以下の場合、エラーを出力します。	R3317	<上段> 記録された数量データが下限値以下のため点数計算ができません。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3318	減点診療行為又は都道府県購入価格(点数)診療行為が一般診療行為と同一回数単位で記録された場合、エラーを出力します。	R3318	<上段> 該当の診療行為のみで点数を記録してください。
R3319	減点医薬品(新又は現金額:金額種別='7')が一般医薬品と同一回数単位で記録された場合、エラーを出力します。	R3319	<上段> 減点医薬品のコードのみで点数を記録してください。
R3320	診療行為レコードの外泊診療行為(実日数='4')を記録した行に点数・回数が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3320	<上段> 外泊診療行為には点数の記録が必要ですが、点数に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3390	コメントパターンが「20」以外の場合、文字データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3390	<上段> コメントの文字データに外字が含まれています。
R3392	6歳未満の自己血による輸血料の算定においてコメントで記録する患者体重が誤って記録された(コメントコードnが「840000082」(患者体重コメント)の場合、文字データnが000100~900000ではない)場合、エラーを出力します。	R3392	<上段> コメントで記録された患者体重が誤っています。
R3393	修飾語マスターに存在しない修飾語コードが記録された場合、エラーを出力します。	R3393	<上段> 存在しない修飾語コードがコメントに記録されています。
R3402	①アナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が単独で記録された ②アナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が点数回数算定単位の先頭に記録された (※①②2枚目以降の撮影料の診療行為コードが先頭、あるいは単独で記録された場合) ③撮影の種類(単純撮影、造影剤使用撮影等)が異なるアナログ撮影とデジタル撮影の2枚目以降(100分の50)の撮影料が記録された (※③撮影区分が異なる撮影料の診療行為コードが記録された場合) 上記のいずれかに合致する場合、エラーを出力します。	R3402	<上段> 他方と同時併施の撮影料の記録が誤っています。
R3403	療養期間一初日に廃止又は新設前の診療行為・医薬品・特定器材コードが記録された場合、エラーを出力します。	R3403	<上段> 当該療養期間では、既に廃止されているか、あるいはまだ有効とされていないコードであるため、使用できません。
R3407	6歳未満の自己血輸血の場合、患者体重のコメントコードが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3407	<上段> 6歳未満の患者体重が記録されていないため輸血料の計算ができません。
R3408	請求点数(点数・回数単位の合計)が最大桁を超える点数・回数が記録された場合、エラーを出力します。	R3408	<上段> 記録された点数、回数により請求点数を計算した結果、計算不能となりました。 点数等の記録内容を確認してください。
R3410	6歳未満の自己血輸血の場合、患者体重のコメントコード(「840000082」(患者体重コメント))が誤って記録された場合、エラーを出力します。	R3410	<上段> 6歳未満の患者体重が誤っているため輸血料の計算ができません。
R3438	文字データの記録が必要なコメントコード(コメントパターンが「10」又は「30」の場合)に、文字データが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3438	<上段> 文字データの記録が必要なコメントコードですが、文字データが記録されていません。
R3439	文字データが数字のみ有効のコメントコード(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)に、数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3439	<上段> 文字データが数字のみ有効のコメントコードですが、文字データに数字以外が含まれています。
R3440	文字データの桁数が決められているコメントコード(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)に、異なる桁数の文字データが記録された場合、エラーを出力します。	R3440	<上段> 記録された文字データの桁数が、当該コメントに記録すべき文字データの桁数と一致しないため、コメントが正しく作成できません。
R3441	文字データの記録が必要な摘要レコードコメント1(コメントパターンが「10」又は「30」の場合)のコメントコードに、文字データが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3441	<上段> 摘要レコードコメント1のコメントコードは文字データの記録が必要ですが、文字データが記録されていません。
R3442	文字データの記録が必要な摘要レコードコメント2(コメントパターンが「10」又は「30」の場合)のコメントコードに、文字データが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3442	<上段> 摘要レコードコメント2のコメントコードは文字データの記録が必要ですが、文字データが記録されていません。
R3443	文字データの記録が必要な摘要レコードコメント3(コメントパターンが「10」又は「30」の場合)のコメントコードに、文字データが記録されていない場合、エラーを出力します。	R3443	<上段> 摘要レコードコメント3のコメントコードは文字データの記録が必要ですが、文字データが記録されていません。
R3444	文字データが数字のみ有効の摘要レコードコメント1(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3444	<上段> 摘要レコードコメント1のコメントコードは文字データが数字のみ有効ですが、文字データに数字以外が含まれています。
R3445	文字データが数字のみ有効の摘要レコードコメント2(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3445	<上段> 摘要レコードコメント2のコメントコードは文字データが数字のみ有効ですが、文字データに数字以外が含まれています。
R3446	文字データが数字のみ有効の摘要レコードコメント3(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、数字以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3446	<上段> 摘要レコードコメント3のコメントコードは文字データが数字のみ有効ですが、文字データに数字以外が含まれています。
R3447	文字データの桁数が決められている摘要レコードコメント1(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、異なる桁数の文字データが記録された場合、エラーを出力します。	R3447	<上段> 摘要レコードコメント1に記録された文字データの桁数が、当該コメントに記録すべき文字データの桁数と一致しないため、コメントが正しく作成できません。
R3448	文字データの桁数が決められている摘要レコードコメント2(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、異なる桁数の文字データが記録された場合、エラーを出力します。	R3448	<上段> 摘要レコードコメント2に記録された文字データの桁数が、当該コメントに記録すべき文字データの桁数と一致しないため、コメントが正しく作成できません。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3449	文字データの桁数が決められている摘要レコードコメント3(コメントパターンが「40」又は「41」の場合)のコメントコードに、異なる桁数の文字データが記録された場合、エラーを出力します。	R3449	<上段> 摘要レコードコメント3に記録された文字データの桁数が、当該コメントに記録すべき文字データの桁数と一致しないため、コメントが正しく作成できません。
R3450	摘要レコードのコメント1に、コメントマスターに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R3450	<上段> 摘要レコードコメント1に存在しないコメントコードが記録されています。
R3451	摘要レコードのコメント2に、コメントマスターに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R3451	<上段> 摘要レコードコメント2に存在しないコメントコードが記録されています。
R3452	摘要レコードのコメント3に、コメントマスターに登録されていないコードが記録された場合、エラーを出力します。	R3452	<上段> 摘要レコードコメント3に存在しないコメントコードが記録されています。
R3453	摘要レコードのコメント1に、コメントパターン「20」以外で、文字データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3453	<上段> 摘要レコードコメント1の文字データに外字が含まれています。
R3454	摘要レコードのコメント2に、コメントパターン「20」以外で、文字データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3454	<上段> 摘要レコードコメント2の文字データに外字が含まれています。
R3455	摘要レコードのコメント3に、コメントパターン「20」以外で、文字データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3455	<上段> 摘要レコードコメント3の文字データに外字が含まれています。
R3456	摘要レコードのコメント1に、6歳未満の自己血による輸血料の算定においてコメントで記録する患者体重が誤って記録された(コメントコード①が「840000082」(患者体重コメント)の場合、文字データ①が000100~900000ではない)場合、エラーを出力します。	R3456	<上段> 摘要レコードコメント1で記録された患者体重が誤っています。
R3457	摘要レコードのコメント2に、6歳未満の自己血による輸血料の算定においてコメントで記録する患者体重が誤って記録された(コメントコード②が「840000082」(患者体重コメント)の場合、文字データ②が000100~900000ではない)場合、エラーを出力します。	R3457	<上段> 摘要レコードコメント2で記録された患者体重が誤っています。
R3458	摘要レコードのコメント3に、6歳未満の自己血による輸血料の算定においてコメントで記録する患者体重が誤って記録された(コメントコード③が「840000082」(患者体重コメント)の場合、文字データ③が000100~900000ではない)場合、エラーを出力します。	R3458	<上段> 摘要レコードコメント3で記録された患者体重が誤っています。
R3459	摘要レコードのコメント1に、修飾語マスターに存在しない修飾語コードが記録された場合、エラーを出力します。 ※コメントパターンが「90」の場合は、文字データを修飾語コードとして使用する。	R3459	<上段> 存在しない修飾語コードが摘要レコードコメント1に記録されています。
R3460	摘要レコードのコメント2に、修飾語マスターに存在しない修飾語コードが記録された場合、エラーを出力します。 ※コメントパターンが「90」の場合は、文字データを修飾語コードとして使用する。	R3460	<上段> 存在しない修飾語コードが摘要レコードコメント2に記録されています。
R3461	摘要レコードのコメント3に、修飾語マスターに存在しない修飾語コードが記録された場合、エラーを出力します。 ※コメントパターンが「90」の場合は、文字データを修飾語コードとして使用する。	R3461	<上段> 存在しない修飾語コードが摘要レコードコメント3に記録されています。
R3465	特定器材単位コードに「001」~「060」以外のコードが記録された場合、エラーを出力します。	R3465	<上段> 特定器材の単位コードに誤ったコードが記録されています。
R3467	複数種類の硬膜外麻酔加算が記録された場合、エラーを出力します。	R3467	<上段> 複数種類の硬膜外麻酔加算が混在して記録されています。
R3468	通則年齢加算が算定可能な診療行為に対して、通則年齢加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R3468	<上段> 年齢加算が重複して記録されています。
R3470	閉鎖循環式全身麻酔に係る診療行為と、一般の診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R3470	<上段> 閉鎖循環式全身麻酔と一般の診療行為が混在して記録されています。
R3490	診療識別「97」以外に食事療養費関係の診療行為が記録された場合、エラーを出力する。	R3490	<上段> 食事欄以外に食事療養費関連のコードが記録されています。
R3491	診療識別「97」に食事療養費関係以外の診療行為が記録された場合、エラーを出力します。	R3491	<上段> 食事欄に食事以外の診療行為が記録されました。
R3531	請求ファイルに記録されている食事療養合計回数が当月日数×3食分を超える場合、エラーを出力します。 ※当月日数は、療養期間-初日の月が11月であれば30日、療養期間-初日の月が12月であれば31日となります。	R3531	<上段> 食事療養回数が当月日数×3食分を超えています。
R3534	請求ファイルに記録されている食事療養合計回数が診療実日数×3食分を超える場合、エラーを出力します。	R3534	<上段> 食事療養回数が診療実日数×3食分を超えています。
R3639	外来診療料等を算定する病院の入院外レセプトで、病床数の記録を必要とするが、病床数が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3639	<上段> 病床数の記録が必要です。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R3765	帳票種別により短期レセプトか長期レセプトかを判断し、請求ファイル内で以下の項目が一致する場合、エラーを出力します。 短期レセプトの場合 ・労働保険番号 ・労働者の氏名(カナ) ・生年月日 ・傷病年月日 ・療養期間 ・診療実日数 ・合計額(イ)+(ロ)+(ハ) ・帳票種別 長期レセプトの場合 ・労働者の氏名(カナ) ・年金証書番号 ・療養期間 ・診療実日数 ・合計額(イ)+(ロ)+(ハ) ・帳票種別	R3765	<上段> 重複した給付キーが存在します。 <下段> 療養期間ー初日[XXXXXXXX]口療養期間ー末日[XXXXXXXX]
R3804	暦年月日以外の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3804	<上段> 傷病年月日が正しい暦年月日で記録されていません。
R3805	療養期間ー末日後の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3805	<上段> 療養期間ー末日後の傷病年月日が記録されています。
R3806	生年月日前の傷病年月日が記録された場合、エラーを出力します。	R3806	<上段> 生年月日前の傷病年月日が記録されています。
R3807	傷病年月日の年号に、「1」(明治),「2」(大正),「3」(昭和),又は「4」(平成)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3807	<上段> 傷病年月日の年号区分に誤ったコードが記録されています。
R3810	生年月日前の療養期間ー初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3810	<上段> 生年月日前の療養期間ー初日が記録されています。
R3811	傷病年月日前の療養期間ー初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3811	<上段> 傷病年月日前の療養期間ー初日が記録されています。
R3812	療養期間ー末日の翌日以降の療養期間ー初日が記録された場合、エラーを出力します。	R3812	<上段> 療養期間ー末日後の療養期間ー初日が記録されています。
R3816	生年月日前の療養期間ー末日が記録された場合、エラーを出力します。	R3816	<上段> 生年月日前の療養期間ー末日が記録されています。
R3820	転帰事由に「1」(治ゆ),「3」(継続),「5」(転医),「7」(中止),又は「9」(死亡)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3820	<上段> 記録できない転帰事由が記録されています。
R3821	新継再別に「1」(初診),「3」(転医始診),「5」(継続),又は「7」(再発)以外が記録された場合、エラーを出力します。	R3821	<上段> 記録できない新継再別が記録されています。
R3823	長期のレセプトで労働保険番号が記録された場合、エラーを出力します。	R3823	<上段> 長期のレセプトで労働保険番号が記録されています。
R3824	短期のレセプトで労働保険番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3824	<上段> 短期のレセプトで労働保険番号が記録されていません。
R3825	長期のレセプトで年金証書番号が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3825	<上段> 長期のレセプトで年金証書番号が記録されていません。
R3826	短期のレセプトで年金証書番号が記録されている場合、エラーを出力します。	R3826	<上段> 短期のレセプトで年金証書番号が記録されています。
R3827	入院外レセプトで食事療養合計回数が記録された場合、エラーを出力します。	R3827	<上段> 入院外レセプトで食事療養合計回数が記録されています。
R3828	入院レセプトで食事療養合計回数が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3828	<上段> 入院レセプトで食事療養合計回数が記録されていません。
R3829	入院外レセプトで食事療養合計金額が記録された場合、エラーを出力します。	R3829	<上段> 入院外レセプトで食事療養合計金額(ハ)が記録されています。
R3830	入院レセプトで食事療養合計金額が記録されていない場合、エラーを出力します。	R3830	<上段> 入院レセプトで食事療養合計金額(ハ)が記録されていません。
R3835	ある診療行為について、金額と点数が両方とも記録されていない場合、エラーを出力します。	R3835	<上段> 該当の診療行為に対して、金額又は点数が記録されていません。
R3838	診療行為マスターの点数識別が「1」(金額)の場合、金額が記録されていない、又は0が記録された場合、エラーを出力します。	R3838	<上段> 該当の診療行為には金額の記録が必要ですが、金額に対し0又は省略(スペース)が記録されました。
R3839	診療行為マスターの点数識別が「1」(金額)以外の場合、不要な金額が記録されている場合、エラーを出力します。	R3839	<上段> 該当の診療行為には金額の記録は不要ですが、金額が記録されています。
R3901	症状詳記区分「50」(治験概要),「51」(リハビリに係る記録データ),「52」(廃用症候群に係る評価表)以外の症状詳記データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3901	<上段> 症状詳記に外字が含まれています。
R3902	症状詳記区分「50」の治験概要データに外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3902	<上段> 治験概要に外字が含まれています。
R3903	症状詳記区分「51」(リハビリに係る記録データ)又は「52」(廃用症候群に係る評価表)に外字が記録された場合、エラーを出力します。	R3903	<上段> リハビリ、又は廃用症候群に係る記載に外字が含まれています。
R4001	初診時ブラッシング料が記録されているが、新継再別が「1」(初診)ではない場合に、エラーを出力します。	R4001	<上段> 初回ブラッシング料が記録されていますが、新継再別が「1」(初診)となっていないです。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4002	初診時ブラッシング料が記録されているが、デブリードマン加算が記録された場合に、エラーを出力します。	R4002	<上段> 初回ブラッシング料が記録されていますが、デブリードマンが記録されています。
R4003	石綿疾患療養管理料と再診時療養指導管理料が併せて記録された場合に、エラーを出力します。	R4003	<上段> 石綿疾患療養管理料が記録されていますが、再診時療養指導管理料が記載されています。
R4004	後期高齢者医療適用区分が「2」(後期高齢者医療のみに適用される診療行為)の診療行為が記録された場合に、エラーを出力します。	R4004	<上段> 老人保険に該当する診療行為コードが記録されています。
R4005	初診料及び再診料の診療行為コードが、労災保険用でないコードが使用された場合に、エラーを出力します。	R4005	<上段> 初診料及び再診料について、労災保険で設定したコード以外(他保険)のコードを記録されています。
R4006	療養給付請求書取扱料が記録されている場合に、新継再別に「1」(初診)以外が記録されている場合に、エラーを出力します。	R4006	<上段> 療養給付請求書取扱料が記録されていますが、新継再別が「1」(初診)になっていません。
R4007	初診料が記録されているが、新継再別が「1」(初診)、「3」(転医始診)、又は「7」(再発)となっていない場合に、エラーを出力します。	R4007	<上段> 初診料が記録されていますが、新継再別が「1」(初診)、「3」(転医始診)、又は「7」(再発)になっていません。
R4008	入院外レセプトについて、記録されている診療実日数が初診料、再診料、外来診療料自体、又は再診料、外来診療料が含まれる診療行為の累計回数未満の場合はエラーを出力します。	R4008	<上段> 回数が記録されているが、初診料及び再診料(又は外来診療料)算定回数が診療実日数を超過しています。
R4009	入院患者に対して、医薬品の点数が記録されているときに診療実日数を超過する調剤料が記録された場合、エラーを出力します。	R4009	<上段> 入院患者に対して、医薬品の点数が記録されているが、調剤料の算定回数と診療実日数が合致していません。
R4010	事業の名称が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R4010	<上段> 事業の名称が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R4011	事業場の所在地が記録されていない場合に、エラーを出力します。	R4011	<上段> 事業場の所在地が記録されていません。 <下段> レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R4012	「99999999999999999999」(労働保険番号不明)以外の労働保険番号において、労働保険加入者台帳に登録されていない場合、エラーを出力します。	R4012	<上段> 記録されている労働保険番号はシステムに登録されていません。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R4013	労働保険番号が、保険適用開始されていない場合、エラーを出力します。	R4013	<上段> 記録されている労働保険番号に対する保険関係が成立していません。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R4014	労働保険番号が、保険適用廃止となっている場合、エラーを出力します。	R4014	<上段> 記録されている労働保険番号に対する保険関係が消滅しています。 <下段> 労働保険番号[XXXXXXXXXXXXXXXX]レセプト内レコード番号[XXXX]レコード内項目位置[XXX]
R4119	病棟区分1~4で重複したコードが記録された場合に、エラーを出力します。	R4119	<上段> 同一病棟区分が2つ以上記録されています。
R4222	保険請求可能な傷病名が1レコードも記録されていない場合に、エラーを出力します。	R4222	<上段> 保険請求可能な傷病名が記録されていません。
R4301	診療行為、医薬品、特定器材の点数を算出し、請求ファイルに記録されている点数と一致しない場合は、エラーを出力します。	R4301	<上段> 固定点数が誤っています。
R4313	特定器材マスターの新又は現金額と請求ファイルに記録されている単価と異なる場合、エラーを出力します。 ただし、酸素補正率及び高気圧酸素加算、定置式液化酸素貯槽(CE)、可搬式液化酸素容器(LGC)、大型ボンベ、小型ボンベの場合は、特定器材マスターの新又は現金額が請求ファイルに記録されている単価より低い場合に、エラーを出力します。	R4313	<上段> 特定器材告示価格と異なる単価が記録されています。記録を省略することも可能ですので、ご確認ください。
R4316	請求ファイルに特定器材名称が記録されており、かつ未コード化特定器材(特定器材コード(777770000))以外の場合チェックします。 特定器材マスターの漢字名称と請求ファイルに記録されている特定器材名称と異なる場合、エラーを出力します。	R4316	<上段> 特定器材の告示・通知名称と異なる名称が記録されています。記録を省略することも可能ですので、ご確認ください。
R4319	診療行為マスターの上限回数が0以外の場合チェックを行います。 請求ファイルに記録されている回数が診療行為マスターの上限回数を超過する場合、エラーを出力します。	R4319	<上段> 当該診療行為の上限回数を超過する回数が記録されています。
R4320	請求ファイルに単位コードが記録されている場合、チェックを行います。 特定器材マスターの単位コードと請求ファイルに記録されている単位コードと異なる場合、エラーを出力します。	R4320	<上段> 特定器材の単位と異なる単位コードが記録されています。記録を省略することも可能ですので、ご確認ください。
R4323	特定器材マスターに単位コードが設定されていない場合で、単位コードが記録されていない場合に、エラーを出力します。	R4323	<上段> 単位コードの記録が必要な特定器材ですが、単位コードが記録されていません。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4413	アナログ撮影とデジタル撮影の1枚目又は2枚目以降(100分の50)の撮影料が点数回数算定単位に複数記録された場合に、エラーを出力します。 (※撮影区分が同一の撮影料の診療行為コードが点数回数算定単位に複数記録された場合)	R4413	<上段> 併算定できない撮影料が記録されています。
R4414	アナログ撮影とデジタル撮影の1枚目と2枚目以降の撮影料の種類(単純撮影、造影剤使用撮影等)が異なる場合に、エラーを出力します。 (※撮影区分が異なるの撮影料の診療行為コードが同一算定単位ないで種類が異なる場合)	R4414	<上段> 同時算定できない撮影料が記録されています。
R4418	上限値超であっても、当該診療行為に関わるデータの値に従い、きざみ値点数算定を行う診療行為の場合で、請求ファイルの数量データが診療行為マスターのきざみ上限値を超過している場合、エラーを出力します。	R4418	<上段> 上限値を超える数量データが記録されています。
R4424	病院の場合で、請求ファイルに記録されている診療行為が診療所のみ適用される診療行為の場合、エラーを出力します。	R4424	<上段> 診療所専用の診療行為が記録されています。
R4426	画像等手術支援加算に対応する基本項目が算定されていない場合、エラーを出力します。	R4426	<上段> 画像等手術支援加算が算定できない診療行為に画像等手術支援加算が記録されています。
R4427	画像等手術支援加算(ナビゲーション)と画像等手術支援加算(実物大臓器モデル)と画像等手術支援加算(患者適合型手術支援ガイド)が混在して記録、又は複数記録されている場合、エラーを出力します。	R4427	<上段> 画像等手術支援加算が重複して記録されています。
R4435	通則加算が記録された場合で、基本項目が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4435	<上段> 通則加算が記録されましたが、基本手技が記録されていません。
R4436	通則加算の後に注加算が記録された場合、エラーを出力します。	R4436	<上段> 通則加算と注加算の記録順が誤っています。
R4437	通減コードが記録されており、通減対象となる診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4437	<上段> 通減対象外の診療行為に通減のコードが記録されています。
R4451	診療開始日が前月以前のレセプトに初診料が算定されている場合はエラーを出力します。	R4451	<上段> 初診料を算定する条件を満たしていません。診療開始日の記録を確認してください。
R4452	休日加算に係る診療行為を行った日※が休日(日曜日、祝日、1/2、1/3、12/29、12/30、12/31)以外の場合、エラーを出力します。 ※診療行為を行った日は、療養期間-初日の年月+算定日情報(1日の情報~31日の情報)から算出します。	R4452	<上段> 休日以外に、休日加算が記録されています。
R4454	入院レセプトについて、記録されている診療実日数が、入院又は外泊として記録されている入院基本料及び特定入院料の累計回数未満の場合はエラーを出力します。	R4454	<上段> 入院基本料及び特定入院料の算定回数が診療実日数を超えています。
R4455	療養期間-初日以前の算定日情報(回数)が記録された場合に、エラーを出力します。	R4455	<上段> 診療開始日以前の算定日が記録されています。
R4459	地域加算が算定できない医療機関の場合で、全ての診療行為が地域加算に関係しない診療行為でない場合、エラーを出力します。	R4459	<上段> 地域加算が算定できない地域です。
R4484	医科レセプトにDPC専用の特定入院料が記録された場合に、エラーを出力します。	R4484	<上段> 当該特定入院料はDPC専用です。
R4495	診療識別「97」の点数回数単位に集計先の異なる診療行為コードが混在して記録された場合に、エラーを出力します。	R4495	<上段> 食事・生活等で点数回数単位に集計先の異なる診療行為が混在して記録されました。
R4603	診療所の場合で、請求ファイルに記録されている診療行為が病院のみ適用される診療行為の場合、エラーを出力します。	R4603	<上段> 病院専用の診療行為が記録されています。
R4607	労災医科診療行為、特定器材の算定日情報(1日の情報~31日の情報)に記録がある日付毎に、以下のチェックを行います。  下限年齢が設定されている診療行為、特定器材が請求ファイルに記録されている場合で、患者年齢※が診療行為マスター、特定器材マスターの下限年齢より小さい場合、エラーを出力します。  また、上限年齢が設定されている診療行為、特定器材が請求ファイルに記録されている場合で、患者年齢が診療行為マスター、特定器材マスターの上限年齢より大きい場合、エラーを出力します。  ※患者年齢は診療行為を行った日と生年月日から算出し、診療行為を行った日は、療養期間-初日の年月と算定日情報として記録されている日付から算出します。	R4607	<上段> 当該年齢では算定できない診療行為又は特定器材です。
R4608	検査判断料が重複して記録された場合に、エラーを出力します。	R4608	<上段> 検査判断料が重複して記録されています。

受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4609	診断料が重複して記録された場合に、エラーを出力します。	R4609	<上段> 診断料が重複して記録されています。
R4610	請求ファイルに記録された診療行為が地域加算に関係しない診療行為以外、かつ該当する地域の地域加算と一致しない場合、エラーを出力します。	R4610	<上段> 異なった地域の地域加算が記録されています。
R4612	同種類の注加算の重複算定がある場合、エラーを出力します。	R4612	<上段> 同時算定不可の注加算が記録されています。
R4613	時間外加算等が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4613	<上段> 時間外加算が重複して記録されています。
R4620	脊髄誘発電位測定加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4620	<上段> 脊髄誘発加算が重複して記録されています。
R4621	頸部郭清術併施加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4621	<上段> 頸部郭清術加算が重複して記録されています。
R4623	自動縫合器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4623	<上段> 自動縫合器加算が重複して記録されています。
R4625	自動吻合器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4625	<上段> 自動吻合器加算が重複して記録されています。
R4626	超音波内視鏡加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4626	<上段> 超音波内視鏡加算が重複して記録されています。
R4628	入院レセプトの場合で、外来のみ適用される診療行為が記録されている場合、エラーを出力します。	R4628	<上段> 入院外専用の診療行為が入院レセプトに記録されています。
R4634	算定可能数を超えた初診料回数が記録された又は当該初診料に係る算定日情報が当該レセプトの診療開始日でない場合に、エラーを出力します。 ※算定日情報(回数):1日の情報~31日の情報になります。	R4634	<上段> 初診料の算定回数が算定可能数を超えています。
R4635	算定可能数を超えた初診休日加算回数が記録された場合に、エラーを出力します。	R4635	<上段> 初診料休日加算の算定回数が算定可能数を超えています。
R4641	注加算コードが同一である診療行為で、注加算通番の昇順以外で記録されている場合、エラーを出力します。	R4641	<上段> 注加算の記録順序が誤っています。
R4644	超音波凝固切開装置等加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4644	<上段> 超音波凝固切開装置加算が重複して記録されています。
R4645	短期滞在手術基本料が記録されている場合で、短期滞在手術基本料が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4645	<上段> 短期滞在手術基本料の算定対象手術が一件も記録されていません。
R4646	短期滞在手術基本料が記録されている場合で、当該短期滞在手術基本料が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4646	<上段> 当該短期滞在手術基本料の区分に該当する手術が記録されていません。
R4651	副鼻腔手術用内視鏡加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4651	<上段> 副鼻腔手術用内視鏡加算が重複して記録されています。
R4652	副鼻腔手術用軟骨部組織切除機器加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4652	<上段> 副鼻腔手術用軟骨部組織切除機器加算が重複して記録されています。
R4653	長時間麻酔管理加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4653	<上段> 長時間麻酔管理加算が重複して記録されています。
R4655	看護補助加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4655	<上段> 看護補助加算が重複して記録されています。
R4656	外泊減算対象外の診療行為と外泊が記録されている場合、エラーを出力します。	R4656	<上段> 外泊減算対象外の診療行為が外泊減算対象として記録されています。
R4661	処置乳幼児加算が記録されている場合で、処置乳幼児加算が算定可能な診療行為が記録されていない場合、エラーを出力します。	R4661	<上段> 処置乳幼児加算が算定できない診療行為に処置乳幼児加算が記録されています。
R4662	処置乳幼児加算が重複記録されている場合、エラーを出力します。	R4662	<上段> 処置乳幼児加算が重複して記録されています。



受付前点検(医科)チェック条件表

2015/4/27

ID	チェック内容	ID	メッセージ
R4891	医療機関情報レコードの予備が記録された場合に、エラーを出力します。	R4891	<上段> 医療機関情報レコードに不要な値が記録されていますが、正常分として受けましたので、今後の請求ではご注意ください。 <下段> レコード内項目位置[XXX]
R4893	電話番号の桁数が15桁を超えて記録された場合に、エラーを出力します。 また、15桁を超えたデータは15桁を超えた部分を切り捨てます。	R4893	<上段> 電話番号の桁数が15桁を超えて記録されていますが、正常分として受けましたので、今後の請求ではご注意ください。 <下段> 電話番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]
R4894	電話番号に英数字、記号以外が記録された場合に、エラーを出力します。 また、英数字、記号以外が記録された場合、当該項目は「XXXXXXXXXXXXXXXX」に置き換えます。	R4894	<上段> 電話番号に英数字、記号以外が記録されていますが、正常分として受けましたので、今後の請求ではご注意ください。 <下段> 電話番号[XXXXXXXXXXXXXXXXXX]